

RubyWorld Conference 2016



RubyWorld Conferenceは以前からソフトウェア開発の生産性について様々な形でたびたび取り上げてきました。第8回目となるRubyWorld Conferenceが「ソーシャルコーディング」が注目される現在、改めて業務システムを含むソフトウェア開発プロセスの効率について考える機会となれば幸いです。

基調講演①



まつもとゆきひろ

一般財団法人Rubyアソシエーション 理事長
プログラミング言語「Ruby」の生みの親、株式会社ネットワーク応用通信研究所フェロー、一般財団法人Rubyアソシエーション理事長、Heroku Chief Architectなど肩書き多数。三女一男、犬一匹、猫一匹の父でもある。温泉好き、鳥取県出身、島根県在住。牡牛座。O型。

基調講演②



堀江大輔氏

GitHub Inc.
1997年米国アラム大学卒業。2003年アマゾンに入社し、プログラマー・マネージャーとして勤務。後にヤフージャパン・ヤフー・グーグル・ハード株式会社を経て、2009年にPeaTixの製品開発部長として入社。2011年にクックパッドの国際事業部のバイスプレジデントに就任する。FullCourtを共同創業する為、クックパッドを退社。2014年にGitHub Inc.に入社。2015年6月にはシニアマネージャーとして「ネットハブジャパン」の設立に携わり、現在はプログラマー・マネージャーとして活動。



Edward Thomson氏

GitHub Inc.
GitHub Inc.のGitインフラストラクチャー・エンジニアとして世界最大のソース・コードホストサービスのスケールアップをサポートしている。GitHub、Microsoft、Apple等が利用しているオープンソースのGitライブラリーのlibgit2プロジェクトのコア・コントリビューターでもある。

広がるRubyのエコシステム

11/3 THU - 4 FRI

<http://www.rubyworld-conf.org/>

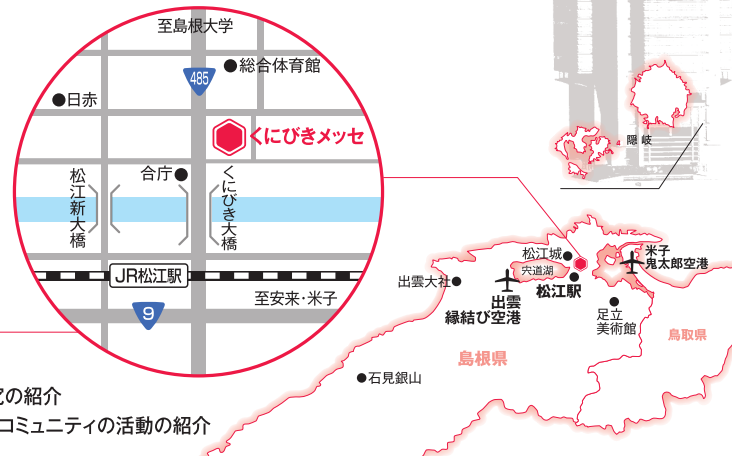
【入場料 5,000円/名】(参加登録が必要です。詳しくは、ホームページをご覧ください。)

★教育機関関係者(教職員・学生)は免除

会場 **島根県立産業交流会館「くにびきメッセ」** 3F 国際会議場
松江市学園南一丁目2番1号 JR松江駅からバス3分/徒歩7分

● Rubyの「エコシステム」～Rubyの持続可能な生態系～

- ◆最新技術動向の紹介 ◆開発事例の紹介 ◆ユーザ視点での導入事例の紹介 ◆教育・研究の紹介
- ◆公的機関による Ruby 支援の取り組み ◆そして、エコシステム全体の基盤となる様々なコミュニティの活動の紹介



【主催】RubyWorld Conference開催実行委員会

【構成団体】(一財)Rubyアソシエーション / 島根県 / 松江市 / 国立大学法人島根大学 / (独)国立高等専門学校機構 松江工業高等専門学校
(独)日本貿易振興機構 松江貿易情報センター(ジェトロ松江) / (公財)しまね産業振興財団 / (一社)島根県情報産業協会 / しまねOSS協議会 / 経済産業省 中国経済産業局

【後援】総務省 中国総合通信局 / 中国情報通信懇談会 / 中国経済連合会 / 島根県商工会連合会 / 島根県商工会議所連合会 / 島根県中小企業団体中央会 / 山陰中央新報社 / 日本経済新聞社 松江支局 朝日新聞松江支局 / 毎日新聞松江支局 / 読売新聞松江支局 / 産経新聞松江支局 / 中国新聞社 / 新日本海新聞社 / 島根日日新聞社 / 共同通信社 松江支局 / 時事通信社 松江支局 / BSS山陰放送 日本海テレビ / TSK山陰中央テレビ / (株)中海テレビ放送 / エフエム山陰 / (株)山陰経済経営研究所 / 島根経済同友会 / (公財)ふるさと島根定住財団 / 日経BP社 / 技術評論社

【お問い合わせ】RubyWorld Conference開催実行委員会 / E-mail:2016@rubyworld-conf.org / TEL:080-5758-7725